



亀山市の経済・雇用情勢について

亀山市の経済・雇用情勢につきまして、本年を振り返りますと、シャープ株式会社亀山工場における新たな事業展開や、市内産業団地への企業進出の決定、大型商業施設の出店など、活発な企業活動が展開されています。

こうした経済情勢を背景として、本市の人口は、本年4月から12月までに約400人増加しており、近年では、本市の製造品出荷額や卸売・小売業の年間販売額も増加しております。更に市内の住宅着工状況につきましても、貸家を中心に増加傾向にあるなど、市内での企業活動が地域経済や雇用創出に大きく寄与しているものと認識しています。

今後におきましても、間もなく完成をいたします亀山・関テクノヒルズ内の新たな分譲区画や来年度中の新名神高速道路の県内本線開通といった、本市を取り巻く産業インフラの充実を追い風にして、新たな企業進出や既存企業の設備投資を促進し、本市の持続的な成長に繋げてまいりたいと考えています。

一方、雇用情勢としましては、全国の有効求人倍率がバブル期以来の高水準を推移する中、ハローワーク鈴鹿管内におきましても、本年11月の有効求人倍率は1.73倍で、求人数が求職者数を大きく上回っている状況が続いており、企業が良好な事業活動を継続する上で労働力確保が一つの課題になっているところです。

こうした中、本市では、来年1月12日に市文化会館において、別紙のとおり、ハローワーク鈴鹿主催、亀山市後援による「亀山地域企業就職面接会」を開催いたします。当日は、正社員就職を希望する方を対象に市内の製造業10社の人事・採用担当者による面接会が行われます。本市としましては、こうした取り組みを通じ市内企業の労働力確保を支援していきます。